

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2021年 2月 15日

事業所名 ナナホシ 蘇原事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			活動するのに十分なスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		基準以上の配置となるようにしている。	基準人員配置以上の職員を配置している。しかし、日によっては送迎時に職員が手薄になる場合もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		<input type="radio"/>	支援室は見通しの良いスペースとなっている。	玄関のかまちにすのこを置くなどはしているが、現状以上の配慮の必要性はなし。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			始業時、終業時にミーティングを行い職員間で情報を共有し、PDCAサイクルに繋げている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			アンケートでいただいた意見を踏まえ、活動内容の充実や改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			自社ホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在、第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		<input type="radio"/>	全職員参加の研修を定期的に行っている。	今年度はコロナ禍のため行っていない。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		契約時にはアセスメントシートへの記入、聞き取りを行い、子どもの様子を共有している。	保護者と面談、相談をしながら状況に合わせて作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		当事業所で使用しやすいようにしたツールを使用している。	使用状況を確認しながら、改善の必要があれば行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		始業時のミーティングで話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		各利用者のやりたいことを尊重し支援している。	活動プログラムは設けていない。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		イベントを企画し、多くの体験をさせるようにしている。	始業前のミーティング、月1回の支援会議にて各利用者の課題を提示し、全職員間での共通認識とるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			個別活動、集団活動と分けて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎朝始業時にミーティングを行っている。	始業時のミーティングにて確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終業時にミーティング、各利用者の記録にて共有している。	終業時でのミーティングにてその日に気になったこと、課題点等についてスタッフ間で話し合い、日誌にて全職員に共有するようになっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			支援終了後、個別支援記録にてその日の様子や特記すべきことを記録し、支援に反映している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			6ヶ月に一度モニタリングを行っている。それ以外でも必要であれば計画の見直しを行っていく。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>			可能な限りガイドラインを活用し支援を行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者を中心に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	主に学校へ迎えに行った職員が対応している。月の送迎シフト作成担当者が下校時刻は確認し作成している。	基本的には学校へ迎えに行った際に情報を共有している。当所の利用状況について保護者から利用予定を担任に渡してもらい、スムーズに引き渡しができるように努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、医療的ケアが必要な利用者を受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		今後必要であれば情報共有し連携を取っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		該当者なし。今後必要に応じて連携していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	土曜日、長期休暇には多くの施設外支援を企画し行っている。	公園に行った際に別で来園している子どもと関わっている。遊具の順番や共有をしていく中で、日々の支援での成果を確認できている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		市の子ども部会等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	口頭、文章にて日々の様子を共有している。	送迎時に様子を直接お伝えし、ネット上で閲覧できるサービス提供記録を来所毎に記録している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	月1回の保護者会を設けている。	今年度はコロナ禍のため行っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	随時相談は受け付けている。	相談があった場合は電話、LINE、もしくは送迎時に直接話をするようにし、必要な助言と支援に努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	月1回の保護者会を設けている。	今年度はコロナ禍のため行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	重要事項説明書に記載し、契約時に口頭にて説明している。	管理者を責任者に置き、苦情が生じた場合はマニュアルに沿って適切に対応できるように体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な通信の発行、HP上でのブログ掲載をし発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付保管庫での情報管理、不必要な情報の削除などを事業所内で徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		各利用者、保護者に合った方法で伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	契約時に保護者には説明し、それ以外にも必要に合わせて周知している。	マニュアルの作成、整備は出来ている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	半年に1回避難訓練を行っている。	消防計画に沿って行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎月末に虐待防止チェックリストの記入を行っている。	社外研修の機会を設けているが、今年度はコロナ禍のため行っていない。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在該当する利用者はいないが、今後を見据えて対応の整備を検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		利用者のアレルギーについては各保護者と相談し対応している。昼食、おやつ時には机を離して食事させるなどの対策を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録作成し、全職員閲覧し共有、改善を図っている。